

第一部 (午前十一時開演)

彦山権現誓助剣

一幕二場

杉坂墓所
毛谷村

身替座禪

常磐津連中
長唄囃子連中

岡村柿紅作

新古今劇
十種の内

第二部 (午後三時開演)

金毘羅のだんまり

一幕

金井俊一郎美術

松貫四作
嬢景清八嶋日記

日向嶋景清

一幕二場

豊澤菊二郎作曲
金井俊一郎美術

河竹黙阿弥作

釣女

常磐津連中

彦山権現誓助剣

毛谷村六助

微塵極内匠正

実は京極内匠正

後室お幸

娘お園

身替座禪

山蔭右京

太郎冠者

奥方玉の井

金毘羅のだんまり

悪七兵衛景清

天野四郎

娘糸滝

土屋郡内

肝煎佐治太夫

日向嶋景清

太郎冠者

上藤

大名某

醜女

染五郎

信二郎

吉之丞

芝雀

吉右衛門

信二郎

歌昇

信二郎

染五郎

芝雀

吉右衛門

信二郎

隼人

染五郎

歌昇

吉右衛門

信二郎

歌昇

歌昇

芝雀

染五郎

歌昇

歌昇

芝雀

染五郎

吉右衛門

上演演目の解説と見どころ

彦山権現誓助劔

京極内匠に闇討ちされた武道指南役、吉岡一味斎の弟子毛谷村の六助は、杉坂の墓所で、微塵弾正という男から、老母のために御前試合に負けてくれと頼まれ、わざと敗れます。一味斎の後室お幸が訪ずれてまもなく、娘のお園が虚無僧姿で現れ、六助を敵と間違えて切りつけます。しかし、かつて許婚と決めた六助とわかり、一緒に一味斎の敵を討つことを誓います。やがて、微塵弾正こそ京極内匠とわかり、騙された六助は怒り、仇討ちに出立するのです。

誠実で朴訥で孝行者の六助と、美貌でありながら武芸の達人、しかも大変な力持ちのお園、二人の性格がくっきりと描かれています。情味豊かで、笑いと涙を誘う一幕です。

身替座禅

恐妻家の山陰右京は、持仏堂にこもって座禅すると妻の玉の井に嘘をついて、恋人の花子に会いに行きます。太郎冠者に言いつけて、身替りに座禅をさせますが、訪ねてきた玉の井に正体がばれてしまいます。玉の井は太郎冠者になりすまし、夫の帰りを待ちうけます。そうとは知らず、ほろ酔い機嫌で戻ってきた右京は、恋人との逢瀬を嬉しそうに語ってきかせます。怒りが頂点に達した玉の井は、かぶっていた衣を取り、形相すさまじく右京を追い回すのです。

狂言の『花子』を題材とした舞踊劇です。妻におびえる夫と、嫉妬心が深い妻が織り成すユニークな物語です。現代でもあり得る夫婦の葛藤をほほえましく描いています。

金毘羅のだんまり

だんまりとは、暗闇の中で大勢の人たちが宝物や旗などを奪い合う様子を、探り合いや立ち回りなど、歌舞伎の様式美に溢れた演出で見せるものです。歌舞伎の代表的な様々な役柄が勢揃いする華やかさと、絵面のような美しさに溢れた舞台展開が大きな魅力となっています。

今回は、その名も『金毘羅のだんまり』として上演されます。「こんぴら歌舞伎」で、だんまりが上演されるのは、初めてのことです。江戸の芝居小屋で魅せるだんまりの古風な美しさはまさしく必見です。

日向嶋景清

平家の残党悪七兵衛景清は、遠く日向嶋に流され、盲目ながら生きながらえています。そこへ、三歳のときに生き別れた娘の糸滝が供の佐治太夫に連れられ訪ねてきますが、自分の落ちぶれた姿が嘆かわしく、泣く泣く追い返してします。しかし、帰りがけに里人に託された金と書置を見せられ、糸滝は廓に身を売り、身代金を父に届けるために、はるばる日向嶋までやってきたのだと知ります。すでに船は出てしまったあと…。景清は悔やみ、悲しみにくれます。その時、里人は頼朝への降参をすすめます。実は里人は、密かに派遣された頼朝の家来なのでした。やがて景清は、全ての恩讐を捨てて、鎌倉に味方すべく出発するのです。

松貫四こと中村吉右衛門が、『藤戸』『巴御前』に続き、三部作の最後を飾る作品として、人形浄瑠璃の原作を基に、新たに書き下ろしました。父の娘への愛情がテーマとなり、景清のプライドと娘への愛との葛藤が、物語の悲しみをより深くさせます。江戸時代の芝居空間を今に伝える「四国こんびら歌舞伎大芝居」、歌舞伎の原点ともいえる舞台から発信される意欲作にご期待下さい。

釣女

さる大名が、恵比須神社に願って妻をさずかろうと、太郎冠者を伴って参詣に出かけます。二人は境内で眠ってしまいましたが、夢の中で同じお告げが下ります。お告げに従い、大名が釣糸を垂らしてみると、見事に美しい上臈がかかります。仲睦まじい二人の姿を見て、太郎冠者が勇んで釣り糸を垂らすと、期待通り、衣をかぶった女がかかります。太郎冠者が衣を取ると、二目と見られぬ醜女でした。太郎冠者は逃げ出そうとしますが、醜女は後を追いつくのでした。

狂言の『釣針』を基にした舞踊劇です。品格を保ちながらも、奇抜な着想とおおらかな笑いが特徴的な作品です。太郎冠者と醜女とのからみが一番の見せ場となっています。